

## 桐光会へのお礼メッセージ(2022 年度秋学期)

---

### #1

この度は応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。父の失業により経済的に厳しい状況を強いられており、新型コロナウイルスの影響により親からの金銭的な援助は難しく、アルバイトしながら勉強の両立をしなければならぬので、心身ともに疲弊していましたが、桐光会の皆様からのご支援により経済的不安が軽減されました。本当にありがとうございました。立派な理学療法士になるためにも、日々勉学に励み、努力をし続けていきたいです。

理学療法学科 奨学生本人

### #2

桐光会奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。私の家は父子家庭のため、父 1 人で祖父母、私、弟を支えています。祖父母は持病があるため病院へ通う日々です。コロナ禍の影響で父の収入が減少し、家族の生活を支えるだけで精一杯の状況のため、桐光会奨学金を申請しました。桐光会奨学金に採用していただいたので、アルバイトの時間が減り、以前よりも勉強時間を確保できるようになりました。勉強時間を確保できたことで、歯科衛生士国家試験模試で点数を大幅に上げることができました。来年 3 月に歯科衛生士国家試験に向けて、試験対策に力をいれ日々勉強に励んでいます。私は将来、患者さんと信頼関係が築ける歯科衛生士になりたいです。患者さんには毎回良い気持ちで帰っていただきたいと考えています。そのためにコミュニケーション能力も身につけられるようにします。立派な社会人として自立できるよう、今後も一層の努力を行ってまいります。

歯科衛生学科 奨学生本人

### #3

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。新型コロナウイルスの影響により、実家の家計状況が大きく減少し、学納金を納めることが困難になってしまいました。私自身も日本学生支援機構の貸与型奨学金を借り、アルバイトを増やす等行っていましたが、力及ばずでした。桐光会奨学金を受給することができ、秋学期の学納金を納め、無事に卒業を見据えることとなりました。卒業後は、本学で学んだ心理学の知見を活かして、美容へと適応させる仕事に就くことを目標とし、接客スキルの向上を目指しています。今後は、支援してくださった皆様に恥じぬよう、日々精進してまいります。最後にご支援いただいた桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

### #4

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。私の家庭は母子家庭であり、経済的な余裕はなく、私自身もコロナ禍によりアルバイトが制限されるなどの状況により、不安を抱えていました。今回、採用していただいたことで、経済面での不安が解消され、より一層、勉強に専念することが

できます。国家試験に絶対に合格し、憧れていた看護師になれるよう、これまで以上に努力していきたいと思います。桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#### #5

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は、新型コロナウイルスの感染拡大により大きな影響を受け、両親の収入の減少により、家計が急変しました。父の収入が減少し、母の収入もなくなりました。そのため、私自身もアルバイトを行い、お弁当や水筒を持参し、出費を限りなく減らし、収入を安定させることができるよう努力してまいりました。しかし、私は登校に片道 2 時間かかることもあり、学業との両立を今後も継続させることができるかと不安に感じておりました。この度、桐光会奨学金に採用していただいたことで、安心し、学業に励むことが可能になりました。大変感謝しております。この大学に入学し、エシカルやマーケティングについて学び、社会的に弱いとされる立場の人へできることをしたいと考えています。この考えを深め、より多くの人の役に立つことができるようになりたいと思っております。今後、このいただいた学びの機会を大切にし、学びを充実させ、一層勉学に励んでいきたいです。

社会情報学科 奨学生本人

#### #6

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の家庭は母子家庭で、アルバイトを行って学費を補填したいと考えておりましたが、実習や国家試験に向けた勉強のためアルバイトを行うことが困難であることから補填することが難しい状況でした。採用していただいたことにより、国家試験合格に向けて安心して勉学に励むことができます。桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

看護学科 奨学生本人

#### #7

この度は、桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。私の父は、自営業で営業の仕事をしております。コロナウイルスの影響でお客様との対面での仕事が難しく、仕事が減ってしまいました。また、他の仕事もしていましたが、コロナウイルスの影響によって、人員削減が行われてしまい、経済的に大変な状況でした。そんな中、同居家族が全員コロナウイルスに罹ってしまい、仕事やアルバイトに行けなくなり、翌月の収入が減ってしまいました。収入が少ない中、桐光会奨学金の申請を行い、採用していただきました。経済的に不安でしたが、解消され勉学に集中することができました。今は就職活動も終えて、卒業論文について頑張っています。社会人となり、地道に働いて今まで借りた奨学金をしっかりと返せるように精進していきます。卒業後は、小売業で働きます。人に感謝される人間になれるよう頑張ります。

地域社会学科 奨学生本人

#### #8

この度は、応急支援による学費の援助をしていただき、誠にありがとうございます。

す。平成30年に祖父が廃業し、その借金を負うこととなりました。また、今年の11月には父が定年を迎えることもあり、この借金を返済することは不可能と判断し、破産宣告いたしました。今回、桐光会からの援助により、アルバイトで得た収入を次年度の学費に充てることができます。また、アルバイトの時間を学業に向けることができ、勉強する時間を確保することができました。今後の学生生活で、創立者の教育理念であり、目白大学の建学の精神である「主・師・親」の如く、あらゆる人々を庇護し、教導し、慈愛することのできる学生を目指して勉学やその他様々な活動に全力で取り組んでまいります。将来は、青年海外協力隊の一員として、縁する1人ひとりの支えになりたいです。目白大学の教授の方々から頂いた教えを活かし、現在、世界中で求められている「誰一人取り残さない」社会作りに貢献できる人材へとなってまいります。

社会情報学科 奨学生本人

### #9

この度は応急支援奨学金に採用していただきまして誠にありがとうございました。私の入学直前に父の頭に疾患が見つかり、2回の開頭術をおこないました。自営業の為、休業の間、収入が激減してしまいました。経済的な不安がなくなり、国家試験の勉強に集中できます。心の底から感謝しております。残り少ない学生生活ですが、今後も油断せず、学業に専念させていただきます。そして必ず国家試験に合格して良い報告をさせていただきます。桐光会のみなさま、この度は誠にありがとうございました。

看護学科 奨学生本人

### #10

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき誠にありがとうございました。学費支弁者である母は、派遣会社の正社員として総合病院で勤務していましたが、病院の都合により、派遣会社の変更があり、勤務していた病院での就労が不可能となりました。そのため、家計が困窮し、学費の捻出が難しくなったため、桐光会奨学金を申請しました。今回、桐光会応急支援奨学金に採用していただいたことで、経済面の不安が軽減され、より一層勉学に励むことができます。現在は、卒業論文を執筆しておりますので、最後まで集中して取り組みたいと考えております。私は現在、大学で学んだ知識や自分の強みを活かして社会に貢献できる仕事に就くために就職活動をしております。しっかりと自分が働きたいと思える企業に出会うために、集中力を切らさず、前向きに取り組んでまいります。無事内定をいただいた後は、卒業までの期間、学業に支障をきたさない程度でアルバイトをして少しでも家計を支えたいと考えております。今回、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、大学に通えることや授業を受けられること、これらは決して当たり前ではなく、必ず誰かに支えられていることだと改めて感じました。同時に、目白大学に関わるすべての方々が温かく、本当に目白大学に入学出来て良かったとも思いました。このように、いつでも誰かに支えられているということを忘れず、次は自分が支えるという気持ちを常に持ち、行動したいと思っております。最後になりましたが、ご支援してくださった桐光会の皆様に心から感謝申し上げます。

経営学科 奨学生本人

**#11**

この度は、桐光会奨学金を採用していただき、誠にありがとうございます。私は5人家族であり、大学生の兄と高校生の弟がいます。母と兄は何年も前から通院しており、医療代が毎月発生しております。弟は来年受験生ということもあり、予備校代や受験費がかかること、また合格後も入学金などが発生し、家計からの支出が増える一方となります。このような状況から、大学生の兄も含め奨学金を借らざるを得ない状況となっておりました。今回、桐光会奨学金に採用していただいたため、以前よりゆとりのある生活ができる所存です。学費を貯めるために、私自身もアルバイトをしていますが、これを機に少し余裕を持つことができます。今までより充実した学生生活を送れると思います。今後は、授業の予習・復習をより綿密に行い、わからないこと、興味があることは図書館やインターネットを利用し積極的に調べ、たくさんの知識を身につけ自分を高めたいです。私は将来、人の役に立てる仕事に就きたいと考えています。その第一歩として、学生のうちはボランティア活動にたくさん参加したいです。今まではアルバイトに力を入れていたため、その分巻き返せるよう頑張ります。今回、桐光会奨学金に関わってくださった皆様、ありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

社会情報学科 奨学生本人

**#12**

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、心から感謝しております。私の家庭は母子家庭で、学費は母親の収入と日本学生支援機構の第二種奨学金を借りてなんとか工面していましたが、家計は厳しい状態でした。しかし、この度、貴会奨学金に採用していただいたことで経済的な不安が軽減され、安心して学業に取り組める環境をいただくことができました。改めて自分の学生生活がどれほど多くの人の支えのおかげで成り立っているのかを深く実感することができました。卒業まで残り少しですが、今後は貴会奨学金を支給して頂いた身として、より一層身を引き締め、勉学に励もうと考えております。卒業後の進路は、キャリアコンサルタントとして就職することが決まっておりますので、学生時代多くの人に支えていただいた分を社会に還元できるよう、常に精進し続けていく姿勢を忘れないようにします。一人でも多くの人に、たくさんの人生の選択肢を提供できるようなキャリアコンサルタントになることが将来の目標です。最後に、修学支援奨学金に採用してくださった貴会の皆様に深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

韓国語学科 奨学生本人

**#13**

このたびは、学納金をご支援いただき、ありがとうございました。7月に父が他界し、収入が大きく減ってしまった為、学納金の支払いが厳しく、桐光会の奨学金に申し込みさせていただきました。学納金が支払えないと思って学校をやめようと考えていた為、桐光会の奨学金により、大学生活を続けられることがとてもうれしく思います。今後は、このご恩を忘れず、今まで以上に真剣に勉強に励みたいと思います。私は中学生の頃から乳児院保育士を目指してきました。桐光会奨学金で支援していただいたことで、乳児院保育士をあきらめずに、これからも目指し、勉強する事ができます。大学で資格を取得し、卒業できたら、まずは5年ほど保育園で子

どもや保護者を観察し、大学で得た学びをしっかりと身に付けた後、乳児院に就職し、身に付けたことを活かしていきたいと考えています。今回桐光会の奨学金に採用いただき、本当にありがとうございました。これからも乳児院保育士を目指し、学んでいきたいと思ひます。

子ども学科 奨学生本人

#### #14

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、心から感謝しております。昨年の12月に父が病で亡くなり、母の収入だけで生活することに不安を抱いておりました。また妹が来年の春に大学へ入学することが決まっております、教育費が多くかかっておりました。父の闘病中にかかった医療費や生活費なども母が主に負担をしていたため、家計が困窮しておりました。こうした理由から、奨学金を申請致しました。今回応急支援奨学金に採用して下さったことで、無事今期の学費を納めることができました。私は今3年であり、就職活動と並行して学業を行っているため、奨学金を頂いたことで学費への不安が解消し、より一層就職活動と学業に集中できることに大変嬉しく有難く思っております。また、今回支援をしていただいたことで「学べること」が当たり前のことではないと、改めて感じさせていただきました。今後は今まで以上に、勉学に励んでいきたいと思ひます。この度は、桐光会応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございました。ご支援いただいた桐光会の皆様に、心から感謝を申し上げます。

経営学科 奨学生本人

#### #15

この度は、応急支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。父が病気になる、入院・手術・休業と不安な日々が続いておりました。今回、採用していただいたことで、学業が続けられると安心しております。この感謝の気持ちを忘れず、これからも努力し続け、皆から信頼される看護師になれるように、国家試験に向けて頑張ります。

看護学科 奨学生本人

#### #16

この度は、桐光会応急支援奨学金のご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年の6月に父が急死し、今後一家を支える収入が母の収入のみとなってしまいました。母は現在、正社員ではなくパートして勤めています。私自身も3年生になってゼミ活動が始まり、就職活動も控えているため、アルバイトの日数を十分に取ることができない状況です。そのため、卒業までの約1年半の学費を母と私自身のアルバイト収入で支払っていくことができるのかとても不安に感じ、桐光会の奨学金を申請いたしました。また、姉も新型コロナウイルスの影響により勤めていた会社の経営が芳しくなく、解雇されてしまったため、頼れるほどの安定した収入があるわけではありません。妹はまだ中学3年生で、これからの高校進学や大学進学に向けてまだまだ教育費も必要であり、父の収入を頼りに生活していた私たちにとって、非常に苦しい家計状況となりました。しかし、今回、奨学金に採用していただいたことにより、私のみならず家族全員、経済的な負担や精神的な不安が軽減

し、特に私と妹は学業に専念できるようになりました。私は現在、就職活動を間近に控えており、自分がどのような職業に就きたいのかを模索し、また自分がどのような人物なのかを日々研究しています。経済的な負担が軽減したことにより、アルバイト漬けの生活ではなく、就職活動やその他の学業に専念できるような生活を送ることができています。来年の春休み頃から本格的に始まる就職活動にも精一杯努め、立派な社会人として新たな一步を踏み出すという形で桐光会の皆様や支えてくださった方々への恩返しをしていきたいです。また残り少ない学生生活の中で、就職後、社会人になってからも役立てることができるよう、将来のために様々な経験や知識を積んでいこうと思います。ご支援いただいた皆様への御恩と感謝の気持ちを忘れずに、努力を重ねて、より一層精進してまいります。

韓国語学科 奨学生本人

### #17

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。私の母は新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、母は職を失い、父も減給となり、私立大学に通う私と妹の学費を減給となった父一人の収入で賄うことは大変難しく、家計は非常に圧迫されていました。今回、採用していただいたことにより、家庭の経済的な負担が軽減し、国家試験に向けた勉強に専念することができました。ご恩に報いるためにも、必ず国家試験に合格し、理学療法士になり、たくさんの方々の方々の力となるために努力を続けることを誓います。桐光会を通して支援してくださった皆様に心より御礼申し上げます。

理学療法学科 奨学生本人

### #18

私が今回桐光会奨学金を申請した主な理由は母子家庭であるからです。両親の離婚により、私は母と妹と暮らすことになりました。母は働きながら生活を支えてくれていますが、学費や修学費の負担は大きく、支払いが困難な状態にありました。今後の就職活動にかかる費用も見越すと、現状の家計では充足できません。また、現在学生の妹がいることや、父からの養育費が無いことから家計が逼迫していました。このように厳しい家計状況の中、今回採用していただいたおかげで大学生活を続けることができます。支援していただいたことで安心して大学に通うことができるという私自身の気持ちの変化もありました。大学に通うことができるありがたさを感じて、毎日受講しようと思います。私は現在小学校の教師になるために勉強しています。専門的な教科の授業を受けたり、実際に小学校へ実習に行くなどして、教職への理解が深まったとともに、教師になりたいという思いがより高まりました。これからも大学で学びを得ながら、なりたい姿を目指して頑張っていきます。この度は採用していただき、ありがとうございます。

児童教育学科 奨学生本人

### #19

この度は、桐光会修学支援奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。両親の離婚により母子家庭となり、大学の授業料や生活費を賄うことに大きな負担が生じていました。今回、採用していただいたことで国家資格取得に向け、勉学に打ち込める環境を得ることができました。ご支援いただいた恩をお返

しできるよう、努力し続けてまいります。

理学療法学科 奨学生本人

#### #20

この度は桐光会奨学金に採用していただきありがとうございます。私が桐光会奨学金を申請した理由は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、親の収入が激減したためです。少しずつ新型コロナウイルスの影響も収まりつつあるため、親の仕事も新型コロナウイルスが蔓延し始めた頃よりは落ち着き、これから少しずつ立て直していくと思います。今後は私もアルバイトの量を増やして家計の支えにしようと思います。今後の学生生活は今よりも上の成績を目指して日々勉強しようと思います。授業で学んだことを家で復習し、自分が理解できなかった内容は友達や先生に聞いて解決しようと思います。将来なりたい職業は、今ははっきりとはしていません。しかし食べ物や飲み物に関する仕事に就きたいと考えています。今は漠然としたものですが、アルバイト先でいつも商品を見ており、お客様の喜ぶ顔を見ていると興味を引かれました。今回、桐光会の方々がこのような支援をしていることを知り、率直にとってもありがたく感謝しております。

経営学科 奨学生本人

#### #21

桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの蔓延、感染、祖父母の介護などによる収入の減少など、様々な理由により、家庭の経済状況が非常に不安定になっていた中、桐光会奨学金制度に出会い、申請させていただきました。桐光会奨学金採用となり、経済的不安が少し解消され、勉学に励む時間を増やすことができそうです。卒業後、私は、エンタメ系のテレビ番組制作のお仕事をしていきます。私はドラマや映画が大好きなので、どんどん番組を企画していき、様々な作品を作っていこうと思っています。

英米語学科 奨学生本人

#### #22

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス禍や祖母の介護、自分の実習等の影響により、両親と私自身の収入がともに著しく減少し、経済的に困難を抱えたため申請をしました。特に、独り身で高齢の祖母が倒れたことによる介護は突然の出来事で、遠方に住んでいることもあり、経済面に加えて精神的にも身体的にも家族そろって負担が大きく、その中で学生である私の学業継続は厳しい状況に陥っていました。今回、桐光会奨学金に採用していただいたことで経済的な負担が軽減し、無事に秋学期の学納金を納めることができ、現在も目白大学での勉学に励むことができます。今後の学生生活では、国家試験の受験資格取得に向けてより一層学業に専念するとともに、継続して目白大学での学びや経験を積んでいきたいと考えています。また、卒業後は社会福祉士の資格を活かした職業に就き、関わる一人ひとりの課題や葛藤、不安等に対し、一つ一つ丁寧に寄り添える支援者になりたいと思います。最後に、改めてこの度は誠にありがとうございました。奨学生としての自覚を忘れず、今後の学生生活を全うします。

人間福祉学科 奨学生本人

**#23**

この度は、桐光会奨学金に採用していただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により父が転職を余儀なくされ、母もパートを増やして家計を支え、私もアルバイトで身の回りのお金を工面していましたが、経済的には厳しい状況が続いていました。しかし、今回本奨学金による援助を受けられたことで、経済面における負担が減り、気持ちも少し楽になりました。日頃の支援だけでなく、今回のようなコロナ禍で経済的に困窮する学生に向けた支援まで行ってくれた桐光会の皆様には心より感謝しております。家族以外にも、私の気づいていないところで私を助けようとしてくれた人がいたことを、本奨学金を通して気づき、私が今後社会の中で生きていくうえで、最も大切なことを知ることができました。大学卒業後は一般企業に就職し、その中で心理学を活かしていくことを目標としています。そのためにも、今後はより一層学業に精進し、皆様からの期待に応え、いつかは私も誰かに恩返しができるような社会人を目指していこうと思います。今後は、学生の本分である学業において最も大切な好奇心や探求心を忘れずに日々の生活を過ごしていこうと思います。本当にありがとうございます。

心理カウンセリング学科 奨学生本人

**#24**

この度は、桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私がこの度、桐光会奨学金を申請した理由は、日本学生支援機構の給付型奨学金と授業料減免が家計による判定により支援対象外となったことで、秋学期分の学費の支払いが非常に厳しくなってしまったからです。桐光会奨学金に採用していただいたことにより、学費の納入が可能になり、大学生活を続けることができそうです。本当にありがとうございます。私は現在、国家資格である社会福祉士の資格取得のため福祉に関する制度やサービス、理念について勉強しています。将来的にはこの資格を活かして、より多くの方が暮らしやすい地域、そして誰もが笑顔になれる国にしていく手助けをしたいと考えています。社会福祉士の資格取得のため、そして日本の福祉をより良くするため、今後も慢心することなく努力していきたいと思います。改めて、この度桐光会奨学金に採用していただき、本当にありがとうございます。桐光会の方々に深く感謝申し上げます。皆様のご期待に添えるよう、精一杯努力してまいります。

人間福祉学科 奨学生本人

**#25**

この度は、桐光会の支援奨学金に採用していただき、ありがとうございます。私の家は母子家庭であり、私の下には弟がまだ2人も居ます。私の学費だけでも金銭的に余裕がなく、進学をひかえた弟が2人もいるため、さらに厳しい状況です。さらに追い打ちをかけるように、母親が持病で、退職となりました。そんな中、今回の修学支援奨学金に採用していただいたことで経済的・精神的負担が軽くなり、アルバイトに使う時間も減るようになり、その影響で私が大学で履修している教職の勉強にも精を出すことができるようになりました。卒業後には、人の生活を支える仕事として、介護や教育に関連した仕事に就きたいと考えています。大学生活の4年

間、桐光会のみなさまに支えていただいたこの気持ちを忘れずに、今度は私が他の人を支える立場として社会人としての一步を踏み出したいです。最後にはなりましたが、これからは、桐光会のみなさまに支えてもらいながら大学に通うことができているという自覚を持ち、一生懸命勉強に励み、悔いのない学生生活を送っていきたいと思います。

地域社会学科 奨学生本人

#### #26

桐光会奨学金に採用していただき、ありがとうございます。片親のため、できるだけ生活面・金銭面で支えたいという気持ちがあり、貸与型奨学金を利用していますが、金銭面での不安は常にありました。ですが、今回、桐光会奨学金に採用していただき、とても感謝しています。

英米語学科 奨学生本人

#### #27

この度は、桐光会奨学金を採用して頂ける事になり、本当に感謝しております。3年前に父が急病によって働けなくなり、母の収入だけでは学費を賄う事が出来ず、これからの進級や就職を考えると不安ばかりが募っていました。そんな折、この度の奨学金のお陰で学費を納めることができ、学業に集中することができて助かりました。現在私は4年生で、残りわずかとなりましたが今後とも勉学に励みたいと思っており、卒業後も私を支えて下さった皆様へのご恩と感謝を忘れず、社会の役に立つ人間になれるよう精進する所存です。このような機会を与えてくださった桐光会の皆様の益々の発展をお祈り申し上げ、お礼の言葉と致します。

メディア学科 奨学生本人

#### #28

この度は、桐光会応急支援奨学金に採用して頂き、誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの影響により、私も母も収入が大幅に減ってしまっていたため、不安な日々を過ごしていました。私は就活生であったため、新しいアルバイトを増やすこともできず、母も他の仕事は見つからないという状態でした。ですが今回、桐光会の応急支援奨学金に採用して頂いたことにより、負担が軽減されました。私も母もとても感謝しております。私は4年生なので残り少ない学生生活ですが、安心して過ごすことができると思います。このような学生生活を無駄にしないよう、勉強やアルバイトなどに励んでいきたいと思えます。また、卒業後は都内の企業の事務職に内定を頂いています。将来の夢は今のところないのですが、1年生の頃からやりたいと思っていた経理職の内定を頂くことができました。そのため、4月からはそこでいろいろなことを学び、次のやりたいことを見つけて、さらに成長していきたいなど考えております。最後になりますが、桐光会の方々、ご支援くださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。頂きました奨学金を無駄にしないよう、より一層精進してまいります。ありがとうございました。

経営学科 奨学生本人

#### #29

桐光会奨学金を採用していただきありがとうございます。父の経営する介護施設が

新型コロナウイルス感染拡大の影響を多大に受けてしまい、事業規模縮小により再起を図りましたが、現状でも新型コロナウイルスの感染拡大の影響は改善せず売上高の激減につながり、それに伴い収入は10分の1以下となってしまい今回申請をしました。経済的不安が軽減され、資格の勉強を前から行なってきたのですが、今まで以上に自分が取得したい資格の勉強に励み、少しでも将来の役に立てるようにしたいです。卒業の進路はプログラミング関係のITの仕事に就きたいと思っているので、更にプログラミングの勉強をし、しっかりと就職活動を行なっていきたいです。

経営学科 奨学生本人